



はしかみ

No.34

8月号(August)

議会だより

暮らし人
地域を豊かに



～県内行政視察研修～

6月26日から27日の2日間、深浦町と鱒ヶ沢町へ行政視察に行ってきました。



三陸復興国立公園
みちのく瀬風トレイル
日本ジオパーク認定

青森県階上町議会

02 6月定例会

コミュニティ助成事業
助成金 190万円

03 ここが聞きたい

1議員が一般質問

06 県内行政視察研修

第4回 6月定例会

平成30年第4回定例会を6月8日開会し、6月13日閉会しました。今回の議会では、専決処分8件、条例制定1件、条例の一部改正1件、補正予算1件、その他2件、計13件が上程されました。また、議員派遣の件1件が提出されました。審議の結果、いずれも全会一致で承認、可決しました。一般質問は、1人の議員が行いました。



蒼前集会所

コミュニティ助成事業助成金 190万円
一般会計補正予算 229万円を増額補正

▽30年度一般会計補正予算 (第1号)

229万円を増額補正し、予算総額を55億7229万円としました。

歳入は、県支出金39万円、諸収入190万円を増額しました。

歳出は、民生費152万円等を減額し、総務費724万円、農林水産業費498万円等を増額しました。

歳出の主なものは、コミュニティ助成事業助成金190万円です。

■条例の制定

▽階上町地方活力向上地域における固定資産税の特別措置に関する条例の制定

認定地域再生計画に記載されている地方活力向上地域内において、認定地方活力向上地域特定業務施設整備計画に従って特定業務施設を新設し、又は増設した者について、当該特定業務施設の用に供する家屋等に対する固定資産税について不均一の課税をすることについて、所要の事項を定めるための条例制定。

■条例の一部改正

▽階上町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、放課

■その他

▽町道路線の認定及び廃止について

みどり団地・八戸市境線と浜渡・向山線の認定及び廃止をしました。

▽階上町固定資産評価審査

委員会の委員に選任する者につき同意を求めることについて

1人の委員の任期満了に伴い、高階繁雄氏の選任に同意しました。



高階 繁雄 氏

■専決処分

▽階上町税条例等の一部改正

地方税法等の一部を改正する法律が、平成30年3月31日に公布され、その一部が同年4月1日から施行さ

後児童支援員の資格要件の拡大に対応するための一部改正。

れたことに伴い、専決処分したものについて、承認を求めるため。

▽階上町国民健康保険税条例の一部改正

地方税法施行令の一部改正に伴い、課税限度額及び減額の対象となる所得基準の引き上げについて、専決処分したものについて、承認を求めるため。

▽29年度一般会計予算

6960万円を増額補正し、予算総額を56億2749万円としました。

歳入は、国庫支出金1170万円、県支出金984万円等を減額し、地方消費税交付税5132万円等を増額しました。

歳出は、民生費2278万円、衛生費2045万円等を減額し、土木費5944万円、諸支出金1億円を増額しました。

▽29年度国民健康保険特別会計予算

284万円を減額補正し、

予算総額を19億2685万円としました。歳入は、療養給付費等交付金342万円等を減額し、国民健康保険税431万円等を増額しました。

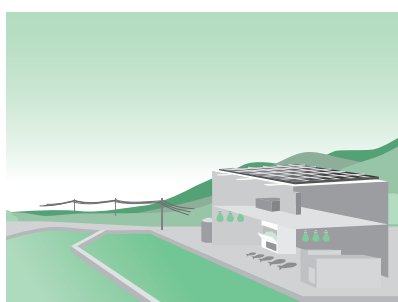
歳出は、保険給付費420万円等を減額し、予備費1455万円等を増額しました。

▽29年度漁業集落排水事業特別会計予算

56万円を減額補正し、予算総額を4243万円としました。

歳入は、使用料及び手数料35万円等を減額しました。

歳出は、総務費3万円等を減額しました。



▽29年度介護保険特別会計予算

445万円を減額補正し、予算総額を12億9289万円としました。

歳入は、支払基金交付金349万円、県支出金141万円等を減額し、国庫支出金256万円を増額しました。

歳出は、保険給付費1248万円、地域支援事業費231万円等を減額し、基金積立金1048万円を増額しました。

▽29年度公共下水道事業特別会計予算

19万円を減額補正し、予算総額を3億1179万円としました。

歳入は、分担金及び負担金264万円を増額し、繰入金258万円等を減額しました。

歳出は、総務費78万円等を減額し、施設管理費65万円を増額しました。

▽29年度後期高齢者医療特別会計予算

121万円を減額補正

し、予算総額を1億911万円としました。

歳入は、保険料53万円繰入金62万円等を減額しました。

歳出は、総務費42万円、後期高齢者医療広域連合納付金58万円等を減額しました。

平成30年度 各会計の補正額及び予算総額

区 分	補 正 額	→	予 算 総 額
一 般 会 計	229万円	→	55億7,229万円

一 般 質 問

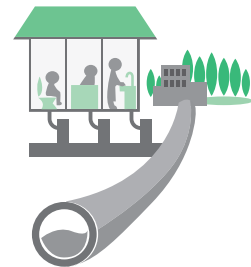


が 聞 きたい

第4回定例会では1議員が一般質問をしました。その内容を要約して掲載します。

■ 郷州 公典 議員 4ページ

- 1 巨木と古木の管理保存と観光活用について
- 2 今後の公共下水道計画について



議 長 交 際 費 執 行 状 況

番号	支払区分	支払月日	支 払 内 容	支出金額	番号	支払区分	支払月日	支 払 内 容	支出金額
1	会 費	7月24日	シキシャ コワンさんを送る会	6,000円	5	祝 金	6月21日	町遺族会定時総会	3,000円
1	祝 金	5月8日	町身体障害者福祉会定期総会	3,000円	6	祝 金	6月24日	町文化協会文化まつり	3,000円
2	祝 金	5月16日	町商工会通常総会	3,000円	7	祝 金	7月7日	いちご煮祭りin東京&ふるさととはしかみ会定期総会	10,000円
3	祝 金	5月19日	町南部芸能協会定期総会	3,000円	8	祝 金	7月21日	見心園夏まつり	3,000円
4	祝 金	6月11日	町消防団OB会総会	3,000円					

巨木と古木の管理保存と観光活用について

〔町長〕所有者と連携して取り組む

問① 三陸復興国立公園に指定され、5

年になるが、観光客も増え活性化が図られている。集客の魅力の一つに、巨木と古木めぐりがあり、春に町内にある2本の古木が県の天然記念物に指定されたが、管理保全・安全対策が十分ではない。町内にある24本の巨木と古木は、公道に近いため所有者の土地などへの立ち入り許可など対策が必要と思うが、町長の考えを伺いたい。

答① 町長 巨木めぐりツアーは、「巨木の郷はしかみ」に掲載されている24本の中から10本程度を見て回るバスツアーで、春と秋の年2回開催。大変人気のあるツアーで、昨年は1311名が参加。ツアーを実施するにあたり、見学マナーや私有地への立ち入りは、パンフレット等で注意喚起するとともに、所有者から承諾をいただき実施している。

保存条例等については、天然記念物に指定されている5本は、それぞれ県と町の文化財保護条例に基づき、管理等を行っている。その他の巨木等については、今までと同様に所有者の意向を考慮した上で、関係機関と連携し適切な管理と保全に取り組んでいく。

問② 他町村では、条例を作り、保護、保全、安全対策の体制作りをしている。当町も条例策定に向けた取り組みが必要と思うが、考えを伺いたい。

答② 産業振興課長 保存制度、管理・保全については、第一に所有者の意向を尊重して進めていきたい。

問① 蒼前、野場中、石鉢地区に公共下水道が供用され10年になるが、石鉢小学校周辺には、まだ敷設されていない。公共下水道の計画がどうなっているか伺いたい。石鉢地区は、現在も住宅建設が進んでおり、人口が減っており、まだ増加が見込めるのではないかと思うので、下水道計画を進めていただきたい。町長の考えを伺いたい。

答① 町長 現在の全体計画事業認可の平成29年度末の整備状況は、126ヘクタールの区域が整備済みで、66%の整備率となっている。管渠の設計についても概ね完了し、今後は、区域内の整備を推進し、地域の皆様に加入していただける

問② 下水道事業の計画変更の話があるが、2年間延長の理由を伺いたい。

答② 建設課長 66%の整備率、残りの面積等、今後の財政状況等を考慮し、2年間の延長とした。

問③ これからの下水道計画の中で、認可区域の拡大という考えを是非入れていただきたい。町長の考えを伺いたい。

答③ 建設課長 石鉢地区の追加について、町では、効率的下水道整備構想が5年に一度ある中で、集落の状況、人口状況等、全体計画の検証等を行い、有効な下水道構想を作成し、その構想を基に、次回の事業認可等へ向けて検討していきたい。

今後の公共下水道計画について

〔町長〕下水道整備構想の検証をし、

効率的な事業の推進を図る



郷州公典 議員



質疑あれこれ

第4回定例会の議案の中から、質疑を要約してお知らせします。

29年度一般会計予算

長根岩夫 議員

◆除雪作業委託料

問 当初予算より、増額になっているが、地区別の出動回数は、安全管理に関わる業者の除雪体制への指導は。

答 建設課長 町内全域6回、西部地区1回、合計7回の除雪出動を行った。

除雪体制は、町の担当者が積雪の状況等確認し、その指示により業者が除雪を行っている。作業するオペレーターの他、現場代理人を置き、技術や安全管理等を行い、事故のないよう指導している。

林 貢 議員

◆町営住宅使用料

問 減額理由と内容は。

答 建設課長 昨年度2名退去。うち1名が、収入超過者で、高額の使用料の算定をしていた為、収入減となった。

◆予防接種委託料

問 減額理由と内容は。

答 健康福祉課長 予防接種は、全体で15種類35回の接種で、それらの執行残によるものである。さらに、出生見込数が減少したため減額したものである。

30年度一般会計予算

荒谷憲輝 議員

◆報償費

問 東部地区小学校統合準備委員会委員報償金の増額理由は。

答 教育課長 委員3人の追加と回数が増えたために、委員報償金として追加補正するものである。

◆備品購入費

問 石鉢小学校に特定された理由と目的、用途、対象児童数は。

答 教育課長 目的、用途は、通級指導教室の教師用の指導教材として購入するものである。通級指導教室とは、特別な支援が必要な児童生徒の中には、少し専門的な支援があれば通常学級の集団指導の中で十分学んでいる児童生徒もおり、そうした通常学級在籍の児童生徒を指導する場としてある。検討した結果、対象児童が多く、指導体制も比較的整備されている石鉢小学校において、児童生徒3人を対象に、言葉の通級教室を設置するために追加補正するものである。

林 貢 議員

◆報償費

問 県指定天然記念物管理謝金の内容は。

答 教育課長 今年4月9日に県の天然記念物の指定を受けた平のサイカチと銀杏木窪の大銀杏の所有者の方々へ、強風など悪天候時の見回りや草刈り等の管理謝金として支払うため、追加補正するものである。



つくしヶ丘団地



榊山団地



問 健康福祉課長 予算化していた乳がん検診の視触診がなくなったことによる執行残によるものである。また、約240人が社保に移行し、国保の対象者が減少したことによるものである。



(上) 平のサイカチ

(右) 銀杏木窪の大銀杏

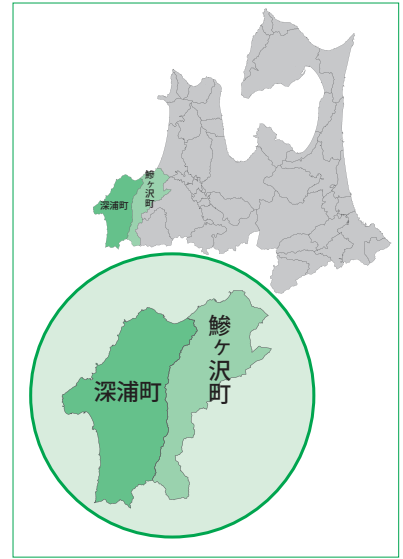


県内行政視察研修

6月26日～27日、深浦町・鰐ヶ沢町への行政視察研修に12名の議員が参加。



6月26日から27日までの2日間、深浦町と鰐ヶ沢町へ行政視察に行ってきました。深浦町では、①深浦マグロステーキ丼 ②海の駅ふかうら「深浦まるごと市場」③道の駅ふかうらについて視察し、鰐ヶ沢町では、①議会活性化に係る取り組み ②海の駅わんどについて視察を行いました。



		深 浦 町	鰐 ヶ 沢 町	階 上 町
人口※		8,330人	10,115人	13,648人
面積		488.89 km ²	343.08 km ²	94.01 km ²
議員定数		12人	12人	14人
議会の委員会	常任	総務文教 6人 産業建設 6人	総務文教 6人 産業建設 6人	総務財政 5人 教育民生 5人 産業建設 4人
	特別	広報編集	議会広報、議会改革	
		議会運営 4人	議会運営 5人	議会運営 4人
議会の活性化		・議会広報の発行	・議会広報の発行 ・夜間議会	・議会広報の発行 ・議会報告会の開催

(※人口は平成30年7月1日現在)

行政視察研修報告会

7月10日、視察研修報告会を行いました。発言内容の要旨を掲載しています。

深浦町では、深浦マグロステーキ丼の開発経緯について、また、海の駅ふかうら「深浦まるごと市場」、道の駅ふかうらを視察。

道の駅の概要や運営、イベント等の状況を聞き、現地を視察。

◆深浦マグロステーキ丼は？

森議員 開発に関しては、町長や議会などの全面支援が必要であると同時に、プロのよそ者プロデューサーも必要だと話があった。

マグロステーキ丼は、見栄えが良く、3種の味があり満足できた。

長根議員 町職員である鈴木さんとプロデューサーをしたヒロ中田さんと

の出会いから始まり、新おもてなしご当地グルメ初となるステーキ丼の開発に繋がった。

このことで、観光入込客数が増加し、経済効果も増えている。この取り組みが成功した第一の要因は、職員に対する町長等の積極的な協力によるものではないかと思う。

郷州議員

漁獲量が毎年減ってきている中で、県内一のマグロを活かそうとなり、上手くまわったのではないかと。階上でも、漁獲量は少ないが、何か見つけてやっていかなければならないと思う。

小松議員

新ご当地グルメを考え、ある程度を始める、町内の食堂で提供できれば良いと思う。また、田子町のガーリックステーキごはんを連携し、相乗効果が図られ

ば良いと思う。

上道議員 一番印象的だったのは、食が人を呼ぶということ。町外客は92%と感心した。何か一つこういったものがあればと強く感じた。

濱谷議員 マグロは、半年程度保存可能で、役場内に冷蔵庫を設置し管理。資源がある所にはちゃんとストックできている。今後、階上でも常に提供できるような形であるでいけば置きお客さんに提供できればと思う。

松尾議員 人(観光客)の訪れない町は衰退し、人の訪れる町は繁盛すると言われ、すごく印象に残っている。我々も町のために考えていかなければならないと思う。

百目木議員 実際は、深浦町のマグロの水揚げ



が県内一だと知られていない。それを逆手に、地域バカが地域を熱くするという思いから試行錯誤した結果、2年4カ月で10万食を達成し、経済効果が約5億5千万円と聞いて感銘を受けた。あるでいけばにおいても早急に商品開発が必要であると思う。

松尾議員 人の訪れない町は衰退し、人の訪れる町は繁盛すると言われ、すごく印象に残っている。我々も町のために考えていかなければならないと思う。

松尾議員 人(観光客)の訪れない町は衰退し、人の訪れる町は繁盛すると言われ、すごく印象に残っている。我々も町のために考えていかなければならないと思う。

畑中議員 町長が、町で勧める食はないかと力を入れ、マグロステーキ丼が完成した。首長の力の入れ方も非常に大きいと思う。

山田議長 いちご煮、階上早生に次ぐ第3のご当地グルメを開発するべきだと思う。階上の海産物、農産物等を使用したご当地グルメの開発、プ

レゼンをして選び、トップになったシェフの料理に対しては、町内店舗にレシピを提供し指導してもらった形をとる。ぜひそういった形で、決められればと思う。

大江議員 マグロの食べ方として、色々な食べ方があるのは面白いと思う。階上もアブラメの食べ方を研究しても良いのではないかと思う。

松尾議員 海の駅と謳っているが、野菜類も置いてあり驚いた。売り場もあるでいけばの倍以上の広さがあり、羨ましいという思いがある。

上道議員 冬期間は、日の暮れるのも早く漁獲量も少ない。極端にお客さんの入込みが違ってくるので、早く閉めると説明を受けた。階上でも早急に参考にした方がいいのではないかと思う。

百目木議員 4月にリニューアルオープンすると、階上と比べ、近くにスーパー等がほとんどな

いたため月の入込客数が約1万人あり、指定管理料300万円と安くても営業可能であると感じた。



◆道の駅ふかつら は？

森議員 施設運営の問題項目として冬期間の集客対策等に加え、電気自動車等の充電施設の設置等を挙げており、あるでいけばも将来を見据えた対応が必要になってくるなと感じた。

長根議員 管理は漁協で、売上が約2億円。あまり大きな施設でないのにも関わらず、これだけの売上があるということ

松尾議員 海の駅と謳っているが、野菜類も置いてあり驚いた。売り場もあるでいけばの倍以上の広さがあり、羨ましいという思いがある。

畑中議員 鮮魚よりも野菜の方が売上が高く、これもお客さんが入る要因かなと思う。

大江議員 立地的に最適な場所だと感じた。経営的に何らかの複合的なものもあればと思う。

松尾議員 看板にインパクトがあった。あるでいけばは、看板が目立たなく、もう少し目立つ

方法を考えるべきだと思う。

郷州議員 観光客が階上の倍近く来ているので、階上も観光客の入込数の増加が必要と思う。

濱谷議員 今後、あるでいけばを続けていくには、定着したイベント情報等がお客様には必要と思う。

荒谷議員 夕日海岸の景観を地の利としていることにならない、階上は、朝日の昇る町として交流を深めていければと感じた。また、みちのく潮風トレイルを活かした観光資源の有効活用を図り、町の発展に繋げていければと感じた。





鯨ヶ沢町では、議会活性化に係る取り組みと海の駅わんどを視察。当町議会に活かせる取り組み等について意見を交わした。

◆議会活性化に係る取り組みは？

百目木議員 平成27年3月に議会改革特別委員会を設置し、町民に開かれた議会、わかりやすい議会を目的として立ち上げられたと聞いた。一般質問は、演壇で一括質問し、その後の質問から一問一答方式を採用。また、夜間議会の開催、職員の

議会傍聴、中高生の模擬議会を開催するなど、議会活性化が進んでいるように感じた。

長根議員 議会改革に向けての考え方は、機敏なものがあり、積極性が見受けられた。中でも約20年ぶりに中学生を対象に、また鯨ヶ沢町議会初

となる高校生の模擬議会を開催し、行政と議会への理解や関心を深め、将来の町の人材を育成するという考え方が実行されていると思う。

一問一答方式は、質問の要点が絞られ、傍聴席の方々が理解しやすく、また、議員は、はっきりと訴えられ、回答を引き出せるということにおいては、大変良いことだと思つ。

畑中議員 一問一答方式で、議長の許可を得たときは、4回から5回の再質問も許すということによって、質問内容によっては議論が深まり良いと思う。



山田議長 一問一答方式は、方向性としてぜひやるべきと思う。

長根議員 気になるのが、時間がないうえに町の答弁がないままに打ち切られるということ。回数制限については、あと1回あってもいいのではないかと思う。

松尾議員 夜間議会を2回行い、最初の傍聴者数は多かったが、2年目に減少したとのことで、PR不足や開催時期の検討が必要だと反省をしていた。また、夜に開催するため、終了時間が決められ十分な議論が出来な

かったということもある。模擬議会は、子ども達にとつて、郷土に興味を持つ良いきっかけになったとの先生談があった。ぜひこれをやってほしいと思うが、理事者、職員が大変であるため、理事者側との話し合いが必要だと思つ。

郷州議員 平成27年に議会改革特別委員会を開催。翌年の選挙後、新たに議会改革特別委員会を設置したとのことで、大

変積極的に議会改革に取り組んでいと思う。夜間議会は、時間が短く大変で、今後の方向性として、休日の議会の方が有効ではないかとの意見があるとのことであった。予算特別委員会があり、3月議会は、会期14日間で議事をしている。また、常任委員会活動のあり方について、階上も考える必要があるのではないかと思つ。

百目木議員 夜間議会のアンケートをとった結果、議員に対して非常に厳しい意見があり、質問するにしても要点をある程度決めて言わないと、ただただ話しても駄目だという意見が、多く見えているように感じた。

郷州議員 議会が様々な団体と協議しているとあった。その中で、婦人会や商工会などの各種団体、また職員の議会傍聴、職員との意見交換もあり、我々も取り組んでいく必要があると感じた。

荒谷議員 町の発展のために中高生の模擬議会や夜間議会の開催、若者や女性の活躍を含め、町を知る、思うことを大事にしながら、議員定数の削減や年功にとらわれず、気概のある人に役割を与え支えることで、議会改革や議会活性化に繋がる

と感じた。

◆海の駅わんどは？

上道議員 大型バスへ一人100円を渡していることに驚いた。乗客がトイレを借りるために入ったら、店舗から運転手さんにチップを献上するというのが、ヨーロッパでは定着していると、説明を聞いて進んだ考えの所があるんだと感じた。先を見据え、売上が上がってきたら前向きに取り組んでいった方がいいのではと強く感じた。

長根議員 町からの指定管理料がなく、大変な営業努力なのかなと思つ。知恵を働かせ、いかにして観光バスを呼び込むか。階上は、入客数があつても物を売る場所が少ない点が残念だと思つ。食堂や宿泊施設など、積極的な手法をもってアピールをしていくことも必要だと感じた。



山田議長 宿泊施設等、誘致できればと思う。海岸線沿いに朝日が見え、階上の美味しい食を出していければ。働きかけてもいかなと思う。

松尾議員 事業費を全て過疎債や原子燃料サイクル事業推進特別対策事業費で賄い、町からの持ち出しがなくなると思う。

連携中枢都市圏の形成に関する勉強会

7月10日、当町で開催された「連携中枢都市圏の形成に関する勉強会」に、議員13名が参加。

- 講師 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局 次長 山崎俊巳氏
- 演題 地方創生における地域間連携について



県議長会町村議会広報研修会

5月24日、青森市で開催された「県議長会町村議会広報研修会」に、議員5名が参加。

- 講師 グラフィックデザイナー 長岡光弘氏
- 講演 (1)読まれる議会だよりの編集と表現ポイント
(2)町村議会広報クリニック



議会だより編集委員会

◇今月号の編集委員（3人）

- ・松尾 國治 議員（教育民生）
- ・上道二三男 議員（総務財政）
- ・小松 雅彦 議員（産業建設）



県下町村議会議員研修会

7月12日、青森市で開催された「県下町村議会議員研修会」に、議員12名が参加。

- 講師 読売新聞特別編集委員 橋本五郎氏
- 演題 今後の政局・政治の動きを読む！



議会活動

5月

- 8日 町身体障害者福祉会定期総会
- 12日 階上中学校体育祭
- 16日 町商工会通常総会
- 19日 はしかみハマの駅あるでい〜ばオープニングセレモニー



- 19日 町南部芸能協会定期総会
- 24日 県議長会町村議会広報研修会
- 28日 全国町村議会議長・副議長研修会（〜29日）
- 30日 郡総合体育大会結団式

6月

- 1日 議会運営委員会
- 1日 八戸・久慈自動車道建設促進期成同盟会定期総会
- 2日 はしかみ臥牛山まつり（〜3日）



- 3日 はしかみつっじマラソン大会
- 5日 県議長会臨時総会
- 8日 第4回定例会本会議
- 8日 水道事業概要説明会
- 8日 議員全員協議会
- 10日 郡総合体育大会開会式
- 11日 町消防団OB会総会
- 12日 第4回定例会本会議
- 12日 議員全員協議会
- 13日 第4回定例会本会議

7月

- 14日 八戸地域広域市町村圏事務組合議員協議会
- 21日 町遺族会定時総会
- 22日 町小学校陸上記録会
- 22日 郡議長会臨時総会
- 24日 町文化協会文化まつり
- 25日 八戸地域広域市町村圏事務組合議会臨時会
- 26日 県内行政視察研修（〜27日）
- 28日 八戸平原総合開発促進協議会定時総会
- 29日 北奥羽開発促進協議会定例総会及び設立50周年記念講演会

- 1日 町内駅伝競走大会
- 2日 主要地方道八戸大野線整備促進連絡会要望活動
- 3日 八戸・久慈自動車道建設促進期成同盟会要望活動（岩手）
- 6日 議会だより編集委員会
- 7日 いちご煮祭りin東京&ふるさとのはしかみ会定期総会
- 9日 町観光協会役員会

- 10日 県内行政視察研修報告会
- 10日 連携中枢都市圏の形成に関する勉強会
- 12日 県下町村議会議員研修会
- 13日 議会だより編集委員会
- 15日 たねいちウニまつり
- 17日 八戸・久慈自動車道建設促進期成同盟会要望活動（仙台）
- 18日 八戸・久慈自動車道建設促進期成同盟会要望活動（東京）
- 19日 道仏中学校消防クラブ結成式
- 19日 全国森林環境税創設促進議員連盟定期総会
- 19日 市町村対抗青森県民体育大会結団式
- 20日 議会だより編集委員会
- 21日 見心園夏まつり
- 23日 夏の交通安全県民運動に係る町街頭広報活動
- 24日 シキシャコワンさんを送る会
- 27日 議会だより編集委員会
- 28日 市町村対抗青森県民体育大会開会式
- 28日 はしかみいちご煮祭りセレモニー（〜29日）

編集後記

町民の皆様には議員活動を理解していただきたいと思いますよう、分かりやすい議会だよりの発行に心掛けています。
今月号は、6月の視察研修の報告もありますので、ご覧ください。
(松尾・上道・小松)

議会傍聴者数 (延べ人数)

- ・第4回定例会
(平成30年6月)
6月8日(5人)
6月12日(8人)
6月13日(6人)

議会を傍聴しませんか



議会の傍聴は、受付簿に、住所、氏名を記入するだけで、どなたでも傍聴できます。
(傍聴者席は、26席です(記者席は除く。))